

1 磐田市の活性化について

(1) 事業承継について

① 2019年4月に事業承継支援ネットワークが設立され中小企業の事業承継が推進された。磐田市は、磐田商工会議所、磐田市商工会、金融機関など12機関と事業承継支援の相互協定を結んだ。

事業承継の現在の取り組み状況を伺う。

② 農業経営の事業承継について現在の取り組み状況を伺う。

(2) 就労支援について

① 創業・起業支援の現在の取り組み状況を伺う。

② 女性、若者、シニアへの就労支援の現在の取り組み状況を伺う。

(3) 農業振興について

① 農家が、農家レストラン、農家カフェを設置することで所得向上につながり、地域の人との交流の場となり地域に潤いが生まれると考えるが現況と支援策を伺う。

② 将来の農業の担い手づくりや、地産地消の推進を図るため、子どもの農業体験が大切と考えるが、現在の取り組み状況を伺う。

(4) 市の情報発信について

① ららぽーと磐田内の磐田市情報館の来館者の推移と現在の市民の評価をどう捉えているか伺う。

② 市民の磐田市情報館の認知度をどう捉えているか伺う。

③ 魅力ある磐田市情報館とするために現在実施していること、また、今後の取り組みについて伺う。

④ 磐田駅北側にある磐田市観光案内所の年間利用者数の推移と市民の評価をどう捉えているか伺う。また、課題を伺う。

⑤ 磐田駅・豊田町駅・御厨駅構内に、市の情報発信や特産品の販売ができる施設が設置できないか伺う。

(5) ヤング草莽塾について

- ① 高校生の柔軟な発想を市政に生かすとともに、将来のまちづくりを担う人材を育成するため、行政課題等について研究する「ヤング草莽塾」を実施して成果をあげていると感じる。さらにより多くの若者の声を市政に反映させるため、18歳から40歳位までの青年から市政への提案をしてもらうため、草莽塾に青年の部（18歳から40歳）をつくれなにか伺う。

(6) 地域ブランド調査魅力度全国ランキングについて

- ① 磐田市の地域ブランド調査魅力度全国ランキングは、平成27年度398位、平成28年度513位、平成29年度486位、平成30年度600位となっている。令和元年度の目標値は、350位以内となっている。ランキングを上げるために行動することが市の活性化につながって行くと考えるが、具体的な施策等を考えているのか見解を伺う。

2 安全安心について

(1) 市民の安全安心

- ① 道路の大小の陥没対応、草木の繁茂による見通しを良くする対策、標識の不具合、河川・水路・公園等の整備については、自治会長、市民等の指摘や要望で対応していると思う。道路、河川、水路、公園等で事故等が起こる前に迅速に対応するためには、職員による平時のパトロールが大切と考える。道路、河川、水路、公園等の平時のパトロールについて、頻度、方法、成果、課題について伺う。
- ② 近年は、台風、暴風等により倒木が頻繁に起きて、道路封鎖や電線切断による停電を引き起こしている。職員が平時にパトロールをして、台風等で倒木の危険が予想される樹木を地権者や電力会社と相談して、平時に伐採や剪定をすることができないか伺う。